

“あおこうまるしえ”で 青谷地域の魅力を PR、活用を提案!

10月30日(金)、道の駅「西いなば気楽里」で、青谷高校3年次生による「あおこうまるしえ」が開かれ、多くの人々が来場しました。これは、地域の課題に基づき、調査・研究等の学習活動を行う3年次の総合的学習「課題探究」の取り組み成果を、地域の方に見てもらおうとともに、青谷地域の魅力を広める機会として開催されたものです。

会場には、「青谷の植物」、「弥生の食研究」など8ブースが用意され、生徒たちがおもてなしをしました。このうち、「青谷木綿の活用」ブースでは、生徒が栽培して採れた綿からの糸紡ぎや、機織りの実演が披露され、「因州和紙の活用」ブースでは、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に認定された青谷の港町を生徒たちがデザインした和紙のブックカバーが販売されました。生徒たちは、積極的に来場者へ声をかけ、展示品をくわしく説明したり、ていねいに質問に答えたりしていました。地域の課題を解決し、活性化をどう進めていくか、青谷生ならではの、アイデア満載のマルシェとなりました。



きれいになった 鳴り砂の浜で思いっきり ビーサンとばし!



10月11日(日)、青谷海岸で、「鳴り砂クリーン作戦」と「あおや鳴り砂ビーチフェスタ2020」が行われました。

例年実施している鳴り砂クリーン作戦は、今回「山陰海岸ジオパーク海岸一斉清掃」として行われ、地元住民のほか、サーファーなど約150人が参加し、漁具やプラスチックごみ、流木などを分別して回収、2トン積みトラック2台分の量のごみが集まりました。

続いて、きれいになった砂浜で鳴り砂ビーチフェスタの「ビーサン(ビーチサンダル)とばし選手権」が、子ども、大人女性、大人男性の部に約40人が参加して開催されました。競技の運営は、青谷高校の生徒ボランティア8人によって行われ、ビーチサンダルが真上に跳んでしまったり、すぐ前に落ちたりして、会場は大いに沸きました。最長距離は、大人男性の22mで、入賞者には、青谷産の赤梨や新米などの賞品がプレゼントされました。

中学生体験入学 実施しました!

毎年、夏休みに中学生のみなさんに青谷高校の特徴・特色を知って、進路選択に役立てていただくことを目的として実施してきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため2か月遅れて10月10日(土)に実施することができました。当日は、生徒会が主体となり学校説明や施設案内をしました。また、体験授業は、来年度から3年次に開設する「弥生文化探究」を含めた7講座でした。

たくさんのご参加ありがとうございました。



なりすなちゃん

青谷高校NOW!
VOL. 15

台風14号の接近で
心配してたけど
無事にできたんだね!



あおや
青也くん